



国立特別支援教育総合研究所

2023

要覧

理事長あいさつ

国立特別支援教育総合研究所（NISE）は、我が国における障害のある子供の教育の充実・発展に寄与するため、昭和46年に当時の文部省直轄の研究所（国立特殊教育総合研究所）として設置され、平成13年に行政改革により設置主体が独立行政法人へと移行しました。その後、平成18年の学校教育法等の改正により、翌年の平成19年に「特殊教育」から「特別支援教育」へ制度改正等がなされ、研究所も同年より現在の「国立特別支援教育総合研究所」と名称を変更して現在に至っています。

前述した平成19年度からの特別支援教育の本格的実施という大きな制度改正をはじめ、平成25年には学校教育法施行令の一部改正による、本人・保護者の意向を最大限尊重し、合意形成を行い、就学先を決定する改正が行われました。平成26年には障害者の権利に関する条約の批准、平成28年には障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行、平成29年から平成31年にかけては、障害のある子供たちの学びの場の柔軟な選択や学びの連続性を踏まえた学習指導要領の改訂が行われるなど、特別支援教育を取り巻く環境は大きく変化しています。また、令和4年12月に公表された文部科学省の調査で、「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合が小・中学校の通常の学級に8.8%の割合で在籍している可能性があることが公表されるなど、小・中学校においても特別支援教育の重要性が高まっています。

このような中、研究所は令和3年度より第5期中期目標・中期計画期間が始まりました。

令和5年度の取組として、研究活動では、障害種の枠を超えて国の特別支援教育政策の推進等に寄与する「重点課題研究」4課題のほか、障害種別に喫緊の課題解決に寄与する研究を実施する「障害種別特定研究」として「肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究」や、テーマ別研究班・障害種別研究班による基礎的研究活動に取り組みます。また、将来的な教育政策の検討資料や教育実践の選択肢、特別支援教育研究における新たな手法等を提示することを目指した研究を実施する「先端的・先導的研究」1課題に取り組みます。

研修事業では、特別支援教育専門研修をオンラインと来所を組み合わせ実施しつつ、WITHコロナAFTERコロナにおける最適な研修形式を検討していきます。また、特別支援教育に関する講義コンテンツをインターネットで視聴できるNISE学びラボの運用や、特に免許状取得率の低い視覚障害者教育領域及び聴覚障害者教育領域について免許法認定通信教育を引き続き実施するとともに、放送大学と特別支援学校教諭免許状取得率向上に向けた連携を図っていきます。

情報普及活動に関しては、Webサイトより研究成果をはじめ、発達障害に関する各種情報、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）などを発信するほか、研究所セミナーの開催や特別支援教育の指導の経験のない又は経験年数の少ない教員に向けたリーフレット「特別支援教育リーフ」を刊行するなど、特別支援教育に関する情報を幅広く発信していきます。

特別支援教育の推進には、日ごろの地道な取組が重要です。そのため、本研究所は、関係諸機関との連携協力に努め、種々の活動の更なる充実を図っていきたく考えています。

今後とも、国民の皆様をはじめ、関係各位の一層のご理解とご支援をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

令和5年5月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（NISE）

理事長 中 村 信 一

目 次

理事長あいさつ	1	NISEの情報普及活動	17
NISEのミッション	2	インクルーシブ教育システム推進に向けた	
ミッションを達成するための取組	2	国際事業及び自治体・学校への支援	21
NISEの沿革	2	関係機関等との連携・協力	23
NISEの組織	3	講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧	24
NISEの研究者	5	最新の研究成果物リスト（研究成果報告書以外）	29
NISEの研究活動	9	NISEの財務・施設	31
NISEの研修事業	15	連絡先・交通案内	32

- ・本冊子における「NISE（ナイセ）」とは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所のことを指します。
- ・本冊子の記載内容は、特に断りのない限り、令和5年5月1日現在のものです。
- ・社会情勢や自然災害により、やむを得ず各事業を中止または変更させていただく場合があります。

NISEのミッション(使命)※

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッション（使命）としています。

※ミッションは令和3年3月に文部科学大臣から指示されたNISEの第5期中期目標において示されたものです。

ミッションを達成するための取組

- ・特別支援教育に係る实际的・総合的研究の推進による国の政策立案・施策推進等への寄与及び教育現場への貢献
- ・各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成
- ・特別支援教育に関する情報普及の充実や自治体・学校への支援

NISEの沿革

昭和46年（1971年）10月

国立特殊教育総合研究所が発足

平成13年（2001年）4月

独立行政法人国立特殊教育総合研究所が発足

平成16年（2004年）4月

組織改編により企画部、教育支援研究部、教育研修情報部、教育相談センター設置

平成18年（2006年）5月

教育相談センターを教育相談部に改組

平成19年（2007年）4月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更

平成20年（2008年）4月

教育支援研究部を教育支援部に名称変更、発達障害教育情報センター設置、研究班体制を開始

平成23年（2011年）4月

組織改編により企画部、教育支援部、教育相談部、教育研修・事業部、教育情報部設置

平成24年（2012年）4月

教育相談部を教育支援部に統合

平成28年（2016年）4月

総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、インクルーシブ教育システム推進センターの4部1センター制に組織改編

平成29年（2017年）4月

総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、発達障害教育推進センター、インクルーシブ教育システム推進センターの4部2センター制に組織改編

令和3年（2021年）4月

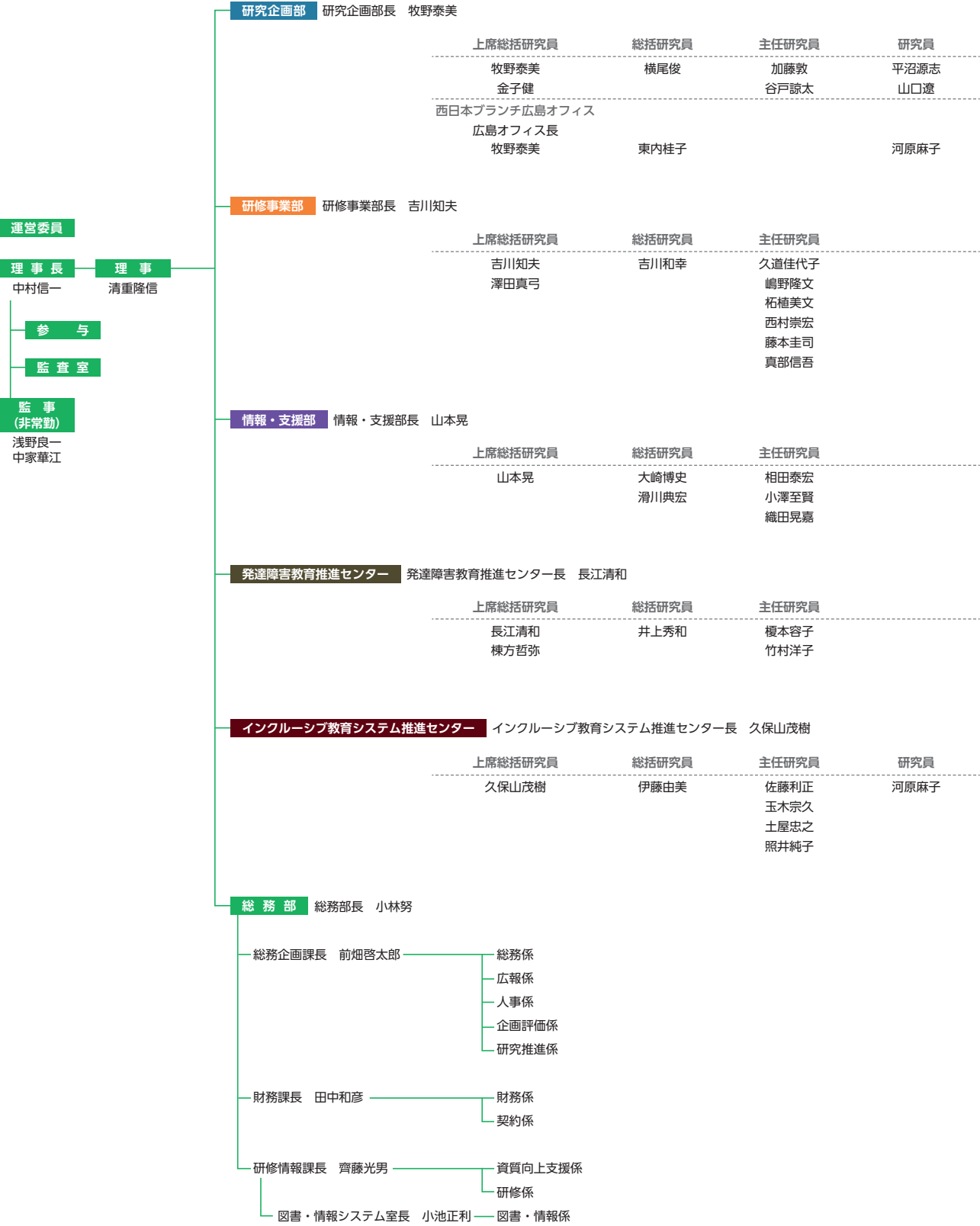
西日本ブランチ広島オフィス設置

令和3年（2021年）10月

創立50周年



NISEの組織



役員・職員数

役 員	2 (2)
研究職	35 (1)
一般職	32
合 計	69 (3)

() 内は非常勤で外数

研究企画部

NISEの研究に関する総合的な企画立案及び調整、特別支援教育政策に係る情報収集、関係省庁との連携・連絡調整などの業務を行っています。

また、NISEの研究活動に関する評価の企画立案についての業務を行っています。

研修事業部

NISEが行う研修事業の企画立案、研修プログラムの開発、インターネットによる講義配信コンテンツの作成及び提供による教員等の資質向上支援、免許法認定通信教育などの業務を行っています。

情報・支援部

特別支援教育に関する情報の収集・蓄積・提供や理解啓発活動、特別支援教育に関する教材及び教育支援機器に関する情報・資料の収集・提供や評価・活用及び関係者の支援などの業務を行っています。

また、学校教育支援・連携として、園・学校長会や特別支援教育センター等の関係団体等と連携し、特別支援教育の理解啓発を推進するための情報提供や特別支援教育の充実を図るための研究成果等の普及を行っています。海外に設置された在外教育施設に対しても、定期的に特別支援教育に関する情報提供や相談支援を実施しています。

さらに、NISEが主催する研究所セミナーや特別支援教育推進セミナーの企画立案及び実施、保護者団体等との連携事業の企画立案及び実施などの業務を行っています。

発達障害教育推進センター

発達障害に関する最新の情報や国の動向について、Webサイトや展示室の公開等を通じて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員や保護者をはじめとして幅広く国民に提供し、理解啓発を一層推進するとともに、教育現場で必要な基本的な知識と指導・支援に関する情報を提供しています。また、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催、教育委員会等と連携した人材育成の取組等を通じて、発達障害教育に関する実践的な指導力の向上を図っています。

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルーシブ教育システム推進に向けて、都道府県及び市町村が直面する課題について、その解決を図るため参画した都道府県及び市町村教育委員会とNISEが協働して実施する「地域支援事業」、国際的動向や諸外国の最新情報の収集及び海外の研究機関等との研究交流を行う「国際事業」、さらに、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）による「情報発信」等の業務を行っています。

総務部

NISEの中期計画及び年度計画の策定、広報、人事、研究支援、研修支援、図書室の運営、情報システム管理、予算・決算、施設管理や各部の業務支援などの業務を行っています。

運 営 委 員				(令和5年5月1日現在)
石原 保志	国立大学法人筑波技術大学長	玉野 麻衣	全国連合小学校長会特別支援教育委員会委員長	
市川 宏伸	一般社団法人日本自閉症協会会長		(大田区立調布大塚小学校長)	
伊藤 僚幸	国立大学法人筑波大学附属久里浜特別支援学校長	外山恵美子	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	
遠藤 哲也	全日本中学校長会生徒指導部長(葛飾区立新宿中学校長)		障害者職業総合センター研究企画部長	
岡田 俊	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	新倉 聡	横須賀市教育委員会教育長	
	精神保健研究所知的・発達障害研究部長	野澤 和弘	植草学園大学副学長(一般社団法人スローコミュニケーション代表)	
喜多 好一	全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会会長	野呂 文行	日本特殊教育学会理事長(国立大学法人筑波大学人間系教授)	
	(江東区立豊洲北小学校長)	花田 忠雄	神奈川県教育委員会教育長	
喜田川典秀	国立障害者リハビリテーションセンター	松為 信雄	神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学名誉教授	
	自立支援局理療教育・就労支援部長	三浦 昭広	全国特別支援学校校長会副会長(東京都立町田の丘学園校長)	
貞広 斎子	国立大学法人千葉大学大学院教育学研究科教授	箕輪 恵美	全国国公立幼稚園・こども園長会(中央区立有馬幼稚園長)	
鈴木 克彦	川崎市総合教育センター所長	宮崎 英憲	全国特別支援教育推進連盟理事長	
滝 充	国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターフェロー	村山 大介	全国高等学校長協会特別支援学校部会理事	
			(東京都立葛飾特別支援学校長)	

NISEの研究者

研究企画部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
牧野 泰美	上席総括研究員 (兼) 研究企画部長 (兼) 西日本ブランチ広島オフィス長	聴覚・言語障害、 コミュニケーション障害	言語指導、言語獲得、コミュニケーション関係、 吃音、自己意識
	[ことばの教室]の機能・役割と担当教師の専門性 言語機能とその障害 子供と教師のコミュニケーション関係の構築 子供の言語発達への支援 吃音のある子供の自己肯定感やレジリエンスへの支援		
金子 健	上席総括研究員	視覚障害	自立活動、触覚教材、乳幼児支援
	視覚に障害のある子供の触覚活用や空間概念形成 3Dプリンターによる立体教材等の触覚教材の作成と活用 弱視用拡大教科書・拡大教材の作成と活用 乳幼児期の視覚障害児に対する支援		
横尾 俊	総括研究員	知的障害	教育相談、聾・知的障害、イギリスの障害児教育制度
	知的障害教育論、知的障害教育における学習評価の在り方 イギリスの障害児教育制度と保護者との合意形成のプロセス		
加藤 敦	主任研究員	盲ろう、重複障害	盲ろう教育、保護者支援、教材・教具開発
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろう児の理解と指導・支援 障害のある幼児児童の保護者への支援 子供の実態に応じた教材・教具の作成		
谷戸 諒太	主任研究員	保育・幼児教育、言語障害教育	就学前の特別支援教育、言語・コミュニケーション
	幼稚園・認定こども園・保育所における保育・幼児教育・特別支援教育に関すること 就学前の言語障害のある子どもへの支援とかかわり		
平沼 源志	研究員	知的障害、発達障害	特別支援学級、体育、アダプテッド・スポーツ
	特別支援学級担任の専門性 体育、アダプテッド・スポーツの役割		
山口 遼	研究員	知的障害、発達障害	アセスメント、知的機能、ダウン症、個別の指導計画
	知的障害児の知的機能・適応行動の特徴と教育的支援、アセスメント開発研究 個別の指導計画作成におけるアセスメント、保護者との連携		

西日本ブランチ広島オフィス

東内 桂子	総括研究員(兼) 地域連携推進監	聴覚障害	聴覚障害教育、巡回相談、教育課程
	聴覚障害教育、センター的機能、知的障害教育の教育課程		
河原 麻子	研究員(兼) インクルーシブ教育システム 推進センター 研究員	盲ろう、重複障害	盲ろう児とのコミュニケーション、盲ろう者の就労
	盲ろう児と他者とのかかわり 卒業後を見据えた盲ろう児童生徒の就労支援		

研修事業部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
吉川 知夫	上席総括研究員 (兼) 研修事業部長	肢体不自由、言語・コミュ ニケーション障害	自立活動、教育課程、拡大・代替コミュニケーション
	肢体不自由及び重度・重複障害の子供の言語・コミュニケーション評価と支援 授業改善、自立活動の個別の指導計画作成		
澤田 真弓	上席総括研究員	視覚障害	自立活動、教科指導、点字指導
	視覚障害教育全般 自立活動、教科指導(国語)、点字指導(中途視覚障害の指導を含む) 拡大教科書(拡大教材作成)、デジタル教科書		

吉川 和幸	総括研究員	発達障害、知的障害	幼児期の特別支援教育、インクルーシブな保育
	障害のある幼児の個別の指導計画、保育記録、保育カンファレンス 障害のある幼児が自己発揮するための保育の環境構成、環境調整 インクルーシブな保育を創出する保育者の実践知		
久道佳代子	主任研究員	重複障害、肢体不自由	授業研究、教員研修
	重複障害児童生徒の指導に関する授業研究 教員の資質能力・専門性向上のための研究・研修 指導・支援に生かすアセスメント		
嶋野 隆文	主任研究員	病弱・身体虚弱、知的障害	授業研究、就学支援
	病弱教育、知的障害教育における授業作り 特別支援学校における児童生徒への教育と支援		
柘植 美文	主任研究員	自閉症、発達障害	やりとり、絵日記、共同注意、情動の表出
	自閉症のある子供の情動の表出に関する指導 自閉症、発達障害のある子供の実態把握と教育的支援 自閉症のある子供の自立活動の指導		
西村 崇宏	主任研究員	人間工学、視覚障害	ヒューマンインタフェース、アクセシビリティ
	ICT機器のユーザビリティ 視覚障害と情報アクセシビリティ		
藤本 圭司	主任研究員	肢体不自由	自立活動、ICT活用
	姿勢や運動・動作の評価と指導、自立活動の指導 肢体不自由教育におけるICT活用		
真部 信吾	主任研究員	自閉症、知的障害、発達障害	自立活動、授業研究、校内支援体制
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導 特別支援学校(知的障害)における授業づくり 知的障害を伴う自閉症児の行動問題に対する教育的支援		

情報・支援部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
山本 晃	上席総括研究員 (兼) 情報・支援部長	聴覚障害	自立活動、言語指導、授業研究
	聴覚障害児の言語指導、感情への気づきに関する研究		
大崎 博史	総括研究員	病弱・身体虚弱、知的障害、 肢体不自由	自立活動、合理的配慮の提供、メタ認知、訪問教育
	病気療養中の高校生への継続的な教育保障プログラムの開発研究 合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発研究 病弱教育、知的障害教育における自立活動の指導、訪問教育		
滑川 典宏	総括研究員	言語障害教育	言語障害教育の充実、ことばの教室、言語障害のある中学生
	ことばの教室に通う子供たちの主体的な学びを育む指導や支援 言語障害のある中学生への指導・支援の在り方、一人一人を大切にしたい校内支援体制づくり		
相田 泰宏	主任研究員	重複障害、進路指導、 キャリア教育	キャリア・カウンセリング、学校教育目標、学校評価
	キャリア教育と進路指導、学校経営		
小澤 至賢	主任研究員	重複障害	コンサルテーション、地域支援システム
	重複障害のある児童生徒の教育 学校コンサルテーション、学校評価、学校マネジメント センター的機能、スクールクラスター		
織田 晃嘉	主任研究員	肢体不自由、ICT活用	アクセシビリティ、ICT活用、自立活動
	肢体不自由教育におけるICT活用 肢体不自由教育における支援機器活用		

発達障害教育推進センター

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
長江 清和	上席総括研究員 (兼) 発達障害教育推進センター長	発達障害、知的障害	知的障害、自閉症・発達障害、授業のユニバーサルデザイン、交流及び共同学習、教職員の専門性向上
	特別支援学校及び特別支援学級の教育課程・指導法、授業のユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育（交流及び共同学習）、教職員の専門性向上（研修プログラム開発）		
棟方 哲弥	上席総括研究員	教育工学	アシスティブ・テクノロジー、教材・教具、教育の情報化、諸外国の特別支援教育
	特別なニーズのある子供のICT活用（支援機器、校務支援システムを含む） 障害者権利条約実施の国際動向		
井上 秀和	総括研究員	発達障害	高等学校の特別支援教育、教科指導上の配慮、施策展開、学びの場
	多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究 通常の学級における多様な教育的ニーズのある子供の教科指導上の配慮 高等学校における特別支援教育推進のための施策展開		
榎本 容子	主任研究員	発達障害、 職業リハビリテーション	就労支援、移行支援、キャリア教育
	発達障害者等の就労・自立に当たっての課題、福祉・労働等の関係機関との連携 高等学校・大学等から雇用への移行支援 学童期から青年期までの発達段階に応じたキャリア教育教材・体験的プログラム開発		
竹村 洋子	主任研究員	発達障害、知的障害	教師－児童間相互作用、児童とのかかわりに対する教師の評価、教師支援、連携
	通常の学級における発達障害等のある児童生徒への教育と支援 通級による指導、教師と保護者や関係機関等との連携		

インクルーシブ教育システム推進センター

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
久保山茂樹	上席総括研究員 (兼) インクルーシブ教育システム推進センター長	言語・コミュニケーション障害	子育て支援、幼稚園・認定こども園・保育所、地域の支援システム
	言語発達の遅れがある子どもとのかかわり ことばの教室の役割 幼稚園・認定こども園・保育所における特別支援教育 保護者への支援・保護者との協働、地域における早期からの支援システム、乳幼児健診における発達相談		
伊藤 由美	総括研究員	発達障害、情緒障害	教育相談、心理的サポート
	発達障害のある子供への心理的サポート、通級による指導		
佐藤 利正	主任研究員	発達障害、情緒障害	発達障害、自立活動、通級指導
	発達障害のある子どもの特性理解 高等学校における特別支援教育		
玉木 宗久	主任研究員	発達障害	LD・ADHD・自閉症等、学習のつまずき、認知機能
	LD、ADHD、自閉症等の発達障害のある子供の学習のつまずきの特性、認知特性		
土屋 忠之	主任研究員	病弱・身体虚弱	精神疾患・心身症（こころの病気）、慢性疾患（からだの病気）、病院内教育
	病弱教育論 病弱教育における授業論 精神疾患・心身症（こころの病気）のある児童生徒への教育的支援		
照井 純子	主任研究員	聴覚障害	センター的機能、自立活動、言語指導
	地域の学校で学ぶ聴覚障害児や保護者、学校への支援 聴覚障害教育における授業づくり 聴覚障害児の自立活動の指導		

特任研究員

名前	専門分野	キーワード
青木 高光	知的障害、自閉症	拡大・代替コミュニケーション、教材・教具開発
李 熙馥	自閉症、発達障害	韓国、自閉症のある自己理解・他者理解、ナラティブ、発達
是永かな子	知的障害、発達障害	北欧、学校教育制度、歴史
笹森 洋樹	発達障害、情緒障害	通級による指導、LD・ADHD・自閉症等、学校・教師支援
穴戸 和成	聴覚障害	聴覚障害、コミュニケーション、教材開発、指導、読みの指導、授業分析
千賀 愛	教育学、教育史	ドイツ、特別支援教育、インクルージョン、特別ニーズ教育、デューイ
武富 博文	知的障害	学校経営、カリキュラム・マネジメント、個別の教育支援計画、学習評価
田尻 由起	保育学、発達障害	フランス、発達心理学、特別支援教育・保育、子育て支援
星 祐子	重複障害	盲ろう教育、教育相談、保護者支援
山中 冴子	比較教育、オーストラリア教育	オーストラリアにおけるトランジション支援、オーストラリアにおけるインクルーシブ教育
横倉 久	知的障害、聴覚障害	学校経営、教育課程、学習評価、授業づくり
吉利 宗久	特別支援教育の学校制度	インクルーシブ教育、教育政策、アメリカの教育
渡邊 あや	教育学、教育社会学、比較国際教育学	フィンランド、教育制度、教育行政、教育政策、比較教育学

NISEの研究活動

// 研究体系 //

令和5年度は、重点課題研究、障害種別特定研究、基礎的研究活動等を戦略的かつ組織的に実施します。

研究区分		研究の性格
重点課題研究		障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究 ・教育課程に関する研究(国への政策貢献) ・切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)
障害種別特定研究		各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究
その他	基礎的研究活動	テーマ別研究班及び障害種別専門分野の課題に対応する研究班における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動
	先端的・先導的研究	将来的な教育政策の検討資料や教育実践の選択肢を提示することを目標に行う研究
	外部資金研究	科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究
	受託研究	外部からの委託を受けて行う研究

※この他、研究区分として、国の要請等に応じた研究、共同研究を設定しています。

// 重点課題研究 //

令和5年度研究課題一覧

研究の類型	研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究副代表者	研究期間
教育課程に関する研究	特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究	教育課程チーム	牧野 泰美	金子 健 真部 信吾	令和5～ 令和7年度
切れ目ない支援の充実に関する研究	高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究	進路指導チーム	伊藤 由美	櫻本 容子 小澤 至賢	令和3～ 令和5年度
	多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究	学びの場チーム	井上 秀和	照井 純子 滑川 典宏	令和5～ 令和7年度
	共生社会の担い手を育む教育に関する研究－障害理解教育の検討を中心に－	共生社会チーム	久保山 茂樹	嶋野 隆文 平沼 源志	令和5～ 令和7年度

// 障害種別特定研究 //

令和5年度研究課題一覧

研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究副代表者	研究期間
肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究	肢体不自由ICTチーム	吉川 知夫	棟方 哲弥 西村 崇宏	令和5～ 令和6年度

// 基礎的研究活動 //

障害種の枠を超えて、今後の学校教育において検討すべき課題や現場の喫緊の課題について基礎的な調査を含めた研究活動を行う4つのテーマ別研究班と、9つの障害種別専門分野の課題に対応する研究班で構成されています。

令和5年度研究班一覧

研究班		班長	副班長
テーマ別研究班	特別支援教育におけるICT、教材・教具の活用に関する研究班 (ICT班)	西村 崇宏	玉木 宗久
	障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班 (キャリア班)	榎本 容子	相田 泰宏
	乳幼児期の特別支援教育に関する研究班 (幼児班)	久保山 茂樹	－
	外国につながるのある子供の特別支援教育に関する研究班 (外国人等班)	澤田 真弓	滑川 典宏
障害種別専門分野の課題に対応する研究班	視覚に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班 (視覚班)	金子 健	－
	聴覚に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班 (聴覚班)	山本 晃	－
	知的障害のある子供の特別支援教育に関する研究班 (知的班)	横尾 俊	平沼 源志
	肢体不自由のある子供の特別支援教育に関する研究班 (肢体不自由班)	吉川 知夫	久道佳代子
	病弱・身体虚弱等の子供の特別支援教育に関する研究班 (病弱班)	土屋 忠之	大崎 博史
	言語に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班 (言語班)	滑川 典宏	谷戸 諒太
	自閉症のある子供の特別支援教育に関する研究班 (自閉症班)	柘植 美文	真部 信吾
	発達障害のある子供又は情緒障害のある子供の特別支援教育に関する研究班 (発達・情緒班)	井上 秀和	伊藤 由美
	重複障害のある子供の特別支援教育に関する研究班 (重複班)	小澤 至賢	加藤 敦

// 先端的・先導的研究 //

令和5年度研究課題一覧

研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究期間
知的障害のある児童生徒に対する系統的なプログラミング教育推進のための先導的研究	知的プログラミングチーム	織田 晃嘉	令和5～令和6年度

詳しくはこちら→

NISE Webサイト > 研究紹介

<https://www.nise.go.jp/nc/study>



// 外部資金研究 //

令和5年度に科学研究費助成事業（科研費）により実施する研究課題は以下のとおりです。

令和5年度 科研費による研究課題一覧

研究種目	研究課題名	研究代表者	研究期間
基盤研究 (B)	企業ニーズを踏まえた発達障害学生のキャリア意思決定を支える研修プログラムの開発	榎本 容子	令和2～5年度
基盤研究 (C)	通級による指導における発達障害のある子どもへの自尊感情の支援に関する研究	伊藤 由美	平成30～令和5年度
	中学ことばの教室担当者の役割とあり方に関する研究－教室経営ガイドブックの作成－	滑川 典宏	平成30～令和5年度
	合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発	大崎 博史	平成30～令和5年度
	心の病気（適応の困難や発達障害の二次的障害含む）のある児童生徒への自立活動の提案	土屋 忠之	令和元～5年度
	共生社会の担い手を育む場としての幼稚園の役割	久保山茂樹	令和元～5年度
	吃音のある子どものレジリエンスの向上を目指した対話型教育実践プログラムの構築	牧野 泰美	令和2～5年度
	算数指導に生かせるアイトラッキングを用いた新しい学習評価法の開発	玉木 宗久	令和2～5年度
	聴覚障害児における抽象語理解の現状とその発達的特徴に関する研究	山本 晃	令和3～5年度
	中学校ことばの教室に通う言語に障害のある生徒の主体性を育む指導・支援の実践的研究	滑川 典宏	令和3～5年度
	高等学校における特別支援教育推進のための施策展開に関する研究	井上 秀和	令和3～5年度
	インクルーシブな保育を創出する保育者の実践知に関する縦断的研究	吉川 和幸	令和4～7年度
	通常の学級における発達障害支援：通級と連携した個別の指導計画の作成・活用の方策	竹村 洋子	令和4～7年度
	修学の意思のある病気療養中の高校生への継続的な教育保障促進プログラムの開発	大崎 博史	令和4～6年度
	特別支援学校におけるICT機器・支援機器に関する全国調査と活用推進のための研究	織田 晃嘉	令和5～7年度
挑戦的研究 (萌芽)	発達障害のある子どものキャリア発達支援に向けた家庭教育プログラムの開発	榎本 容子	令和2～5年度
若手研究	特別支援学級担任の省察に基づく専門性の解明に関する基礎的研究	平沼 源志	令和元～5年度
	全盲児の能動的なタブレット活用を支援する触運動学習システムの開発	西村 崇宏	令和3～5年度
	社会的弱者 (Vulnerable People) となりうる人々は歴史を学ぶ意味を何に求めるのか	鈺 悠介	令和5～9年度
	盲ろう児担当教員の実態把握の視点を継承する－盲ろう児の手に焦点を当てて－	河原 麻子	令和5～7年度
研究活動 スタート支援	行動障害への対応に関する内容を含む自閉症教育モジュール型研修プログラムの開発	真部 信吾	令和3～5年度
	盲ろう児に対するコミュニケーション指導アプローチの検討	河原 麻子	令和3～5年度

// 受託研究 //

令和5年度に実施する受託研究課題は以下のとおりです。

令和5年度 受託研究課題一覧

研究課題名	委託機関	研究期間
盲ろう幼児児童生徒の支援体制整備に関する開発的研究 －オンライン等を活用した盲ろう担当教員等研修・支援－	一般財団法人ファーストリテイリング財団	令和2～5年度

// 刊行物による研究成果等の普及 //

NISEでは、実施した研究の成果を、研究成果報告書やサマリー集、ガイドブック等、様々な形態で作成し、全てWebサイト上に掲載、及びダウンロードできるようにすることで、最新の研究成果をできる限り早く教育現場にお伝えするようにしています。


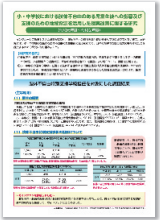
研究成果報告書、書籍、リーフレット

NISEでは、実施する研究課題が終了した時点で、その成果をまとめた「研究成果報告書」を研究課題ごとに作成し、Webサイトにも掲載しています。

さらに、研究課題ごとの成果等を簡潔にまとめた「研究成果報告書サマリー集」を作成し、全国の教育関係機関等に送付するとともに、Webサイトにも掲載しています。

また、研究成果の中で、教育現場での指導や支援等にすぐに役立つ情報については、活用しやすいようにリーフレットやガイドブック等にまとめたり、市販の書籍として発行したりしています。

研究成果報告書	研究成果報告書サマリー集(令和4年度終了課題) 令和5年7月(予定)	
	学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究 令和5年7月(予定)	
	ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究 令和5年7月(予定)	
	障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究 令和5年7月(予定)	
	通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究 令和5年7月(予定)	
ガイドブック	肢体不自由特別支援学級の指導ガイドブック ー日々の指導に生かす肢体不自由教育の基礎・基本ー改訂版 令和4年3月	
	「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」事例整理集 令和3年7月	
	病気療養等により支援が必要な児童生徒のための遠隔教育Q&A 令和3年7月	
	インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック ー知的障害および自閉症・情緒障害特別支援学級を中心にー 令和3年3月	
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子どもたちの育ちと学びのために ー教職員、保護者、関係するみなさまへー 令和3年3月	
書籍	特別支援教育の基礎・基本 2020 (株) ジアース教育新社,ISBN978-4-86371-548-6 令和2年6月	
	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導 ー確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力ー (株) ジアース教育新社,ISBN978-4-86371-575-2 令和3年3月	
	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める10の実践 ー「インクルCOMPASS」で強みや課題をみつけようー (株) ジアース教育新社,ISBN978-4-86371-574-5 令和3年3月	

リーフレット ・ 事例集 ・ 調査報告書	特別支援教育リーフVol.1 ～ Vol.5	 
	知的障害特別支援学級の授業づくり『すけっと』がお助けします！ 令和3年7月	
	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 ー新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題ー 令和3年3月	
	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ もしかして、それ…二次的な障害を生んでいるかも…？ 令和3年3月	
	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する状況 令和3年3月	
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究 令和3年3月	
	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ 令和3年3月	
	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書 令和3年3月	

研究紀要

NISEでは、特別支援教育に関する未発表の論文等を所内より募集し、内容審査を行った上で、「国立特別支援教育総合研究所研究紀要」として毎年度発表しています。研究紀要は、Webサイトに掲載しています。

◆ 研究紀要第50巻（令和5年3月発行）の内容

①原著論文

- ・知的障害を伴う自閉症児の聞こえの実態と教育的対応：
教員及び保護者を対象とした質問紙調査

②調査資料

- ・障害者権利委員会一般的意見「インクルーシブ教育への権利」（General Comment No.4）ドラフト版を巡る議論
ードラフト版から採択版における主要な変更と公開された意見ー

③寄稿

- ・国立特別支援教育総合研究所研究紀要に今後期待すること

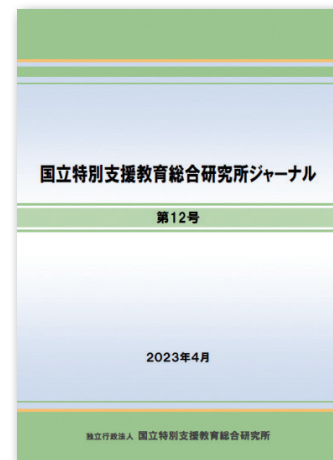


特総研ジャーナル

NISEでは、研究をはじめとする様々な活動の成果をまとめた「国立特別支援教育総合研究所ジャーナル（特総研ジャーナル）」を毎年度作成し、Webサイトに掲載しています。

◆ 特総研ジャーナル第12号（令和5年4月発行）の内容

- ① 令和4年度研究活動報告
 - ・ 研究課題一覧
 - ・ 基礎的研究活動リポート
- ② 国際会議・外国調査等の報告
 - ・ 韓国国立特殊教育院 第28回国際セミナー参加報告
- ③ 事業報告
 - ・ 国立特別支援教育総合研究所における研究の企画・立案
 - ・ 各都道府県における中核となる指導者（スクールリーダー）の資質向上に向けて
 - ・ 情報・支援部事業報告 特別支援教育に関する情報普及の充実等を目指して
 - ・ 通常の学級における発達障害教育に関する情報提供等の充実に向けた取組
 - ・ インクルーシブ教育システム推進センター事業報告
- ④ 諸外国の動向調査
- ⑤ NISEトピックス

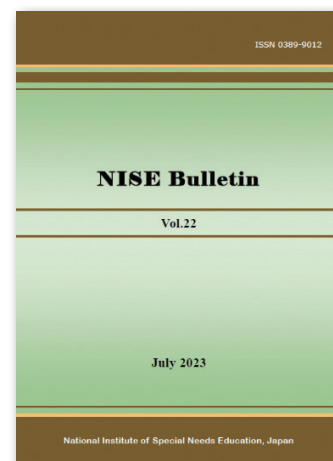


NISE Bulletin

NISEでは、研究をはじめとする様々な活動の成果を英文でまとめた「NISE Bulletin」を毎年度作成し、Webサイトに掲載しています。

◆ NISE Bulletin Vol.22（令和5年7月発行予定）の内容

- ・ 令和4年度研究活動報告
- ・ 令和4年度研究成果サマリー
- ・ トピックス
- ・ 特別支援教育資料の概要
- ・ 国立特別支援教育総合研究所研究紀要第50巻の要旨



屋上からの景色

詳しくはこちら→

NISE Webサイト > 報告書・資料

https://www.nise.go.jp/nc/report_material



NISEの研修事業

// 都道府県等における指導者の養成を目的とする研修の実施 //

NISEでは、インクルーシブ教育システムの充実に向けて、各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成を図るため、各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導の立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修として、以下の研修を実施しています。

令和5年度研修事業計画

名 称			期 間	募集人員
特別支援教育 専門研修	第一期	視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース ・視覚障害教育専修プログラム ・聴覚障害教育専修プログラム ・肢体不自由教育専修プログラム ・病弱教育専修プログラム	令和5年 5月8日(月)～7月7日(金) ※集合・宿泊研修期間: 5月29日～6月16日	70名
	第二期	発達障害・情緒障害・言語障害教育コース ・発達障害・情緒障害教育専修プログラム ・言語障害教育専修プログラム	令和5年 9月6日(水)～11月10日(金) ※集合・宿泊研修期間: 10月2日～10月20日	70名
	第三期	知的障害教育コース ・知的障害教育専修プログラム	令和6年 1月10日(水)～3月14日(木) ※集合・宿泊研修期間: 1月29日～2月16日	70名
インクルーシブ教育 システムの充実に 関わる指導者研究協議 会・セミナー	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会		令和5年 7月27日(木)～7月28日(金)	70名
	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会		令和5年 8月31日(木)～9月1日(金)	70名
	交流及び共同学習推進指導者研究協議会		令和5年11月22日(水) ※オンライン実施	80名
	発達障害教育実践セミナー		令和6年1月25日(木) ※オンライン実施	70名程度
連携研修	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会		令和5年8月22日(火) ※オンライン実施	60名

いずれも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置を図った上で実施します。

昭和46年のNISE創設と同時に研修事業を開始して以来、令和5年3月31日現在、特別支援教育専門研修の受講者数は10,227名、その他の研修の受講者数も12,976名を数え、それぞれの課程を修了しています。これらの方々は、全国の学校や教育関係機関等で活躍されています。

詳しくはこちら→

NISE Webサイト > 研修

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar



// 幅広い教職員の資質向上に係る支援 //

NISEでは、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、全ての学校種の教員について特別支援教育に関する知識・技能を身に付けることが求められていることから、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するための事業を実施しています。

インターネットによる講義配信「NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～」

NISEでは、各都道府県等において障害のある児童生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信を行っています。

講義内容は、以下の内容に区分され、約170の講義コンテンツを配信しています。

- ・インクルーシブ教育システムの構築など特別支援教育全般の基礎理論や総合的・横断的な内容
- ・障害種別の専門性（概論、教育課程、指導法等）に関する内容
- ・通常の学級における学びの困難さに応じた指導に関する内容

個人利用の登録を行うことによって、全ての講義について、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等から無料で視聴できます。また、団体利用の登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。

講義配信コンテンツは、P24～28「講義配信『NISE学びラボ』コンテンツ一覧」をご覧ください。

詳しくはこちら→

NISE Webサイト > NISE学びラボ

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online



免許法認定通信教育

NISEでは、特別支援学校教諭免許状取得率の向上に寄与することを目的として、特に免許状取得率の低い視覚障害者教育領域及び聴覚障害者教育領域について、教育職員免許法施行規則第七条表の第二欄に掲げる科目のインターネットによる免許法認定通信教育を開講しています。受講料は無料です。

◆ 令和5年度実施概要

[前期]

開設科目：視覚障害児の教育課程及び指導法(1単位)

聴覚障害児の教育課程及び指導法(1単位)

講習期間：令和5年5月8日(月)～令和5年8月18日(金)

単位認定試験日：令和5年9月10日(日)

受講定員：各科目200名

[後期]

開設科目：視覚障害児の心理、生理及び病理(1単位)

聴覚障害児の心理、生理及び病理(1単位)

講習期間：令和5年10月2日(月)～令和6年1月12日(金)

単位認定試験日：令和6年2月4日(日)

受講定員：各科目200名



※映像講義のイメージです。
読み上げ原稿も表示しています。

お問い合わせ→

免許法認定通信教育総合情報サイト

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>



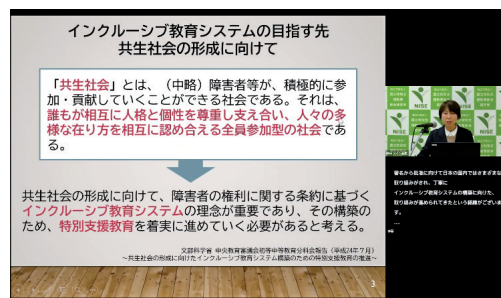
NISEの情報普及活動

// セミナー等を通じた情報普及 //

特別支援教育推進セミナー

教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等及び大学と連携を図りながら地域における特別支援教育の理解啓発を図ることを目的とした特別支援教育推進セミナーを開催しています。

令和5年度は、北海道・東北ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロックを対象に開催する予定です。各地域の課題や必要としている情報を把握し、各関係団体等と連携して、特別支援教育等に関する有益な情報を提供し、ブロック内の交流促進や関係構築を図ります。



特別支援教育推進セミナー
オンライン配信の様子(令和4年撮影)

研究所セミナー

インクルーシブ教育システムの進展に向けて、令和5年度にNISEで実施した研究、特別支援教育の重要課題についての行政説明、講演等を行います。

期 日：令和6年3月

会 場：学術総合センター(東京都千代田区)



研究所セミナーポスター発表の様子(令和4年度)



研究所セミナー開会式の様子(令和4年度)

※開催期日、会場、開催方法を変更する場合があります。

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > 研究所セミナー

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/special_seminar



世界自閉症啓発デー関連事業

毎年4月2日は国連で定められた世界自閉症啓発デーです。世界自閉症啓発デーに関連するイベント等に関係機関との共催で毎年開催しています。

詳しくはこちら→

世界自閉症啓発デー公式サイト

<http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/>



// Web サイトを通じた情報普及 //

NISEでは、特別支援教育全般に関する情報をはじめ、インクルーシブ教育システム構築に関する情報、発達障害に関する情報、教材や支援機器の実践事例等、様々なニーズに応じた形でWebサイトを通じて用意しており、特別支援教育の関係者はもちろん、広く多くの方を対象とした情報提供を行っています。

発達障害教育推進センター Webサイト、発達障害ナビポータル

発達障害教育推進センターは、全ての国民が発達障害を理解し、共に手を携える共生社会を目指した理解啓発を目的として、Webサイト等を通じて広く情報普及活動に取り組んでいます。

また、発達障害のあるご本人やご家族に向けた情報を中心に、その暮らしを支える教育、医療、保健、福祉、労働の各分野の情報を発信する国のサイト「発達障害ナビポータル」を文部科学省、厚生労働省、国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センターと共同で運営しています。



発達障害教育推進センター



発達障害ナビポータル

詳しくはこちら→

発達障害教育推進センター WEBサイト

<http://cpedd.nise.go.jp/>

発達障害ナビポータル

<http://hattatsu.go.jp/>



インクルーシブ教育システム推進センター WEBサイト

インクルーシブ教育システム推進センターのWebサイトでは、インクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、本センターが取り組んでいる業務について情報提供をしています。

◆ Webサイトを通じて提供している情報の主な内容

- ・インクルーシブ教育システムに関する基礎知識
- ・地域支援事業に参画した自治体の実施報告
- ・諸外国の最新情報と国際交流に関する情報
- ・インクルDB（合理的配慮の実践事例等）と活用方法



詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム推進センター WEBサイト

https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center



特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）

平成25年8月、文部科学省が設置した「障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会」による報告において、国等の役割として、「障害の状態や特性に応じた教材や支援機器、指導方法、活用事例等に関する全国レベルで情報交換するためのデータベースの作成」が示されました。

これを受けて、NISEでは、教材・支援機器の活用に関する実践事例や関連情報を広く提供するために、「特別支援教育教材ポータルサイト」を、平成27年3月から運用しています。



詳しくはこちら→

特別支援教育教材ポータルサイト

<http://kyozai.nise.go.jp/>



// 研究所の展示室・演習室 //

発達障害教育推進センター展示室

発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実を目的として、発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示、教材・教具や支援ツール、参考図書等の紹介を行っています。発達障害の特性を体験的に学ぶコーナーもあります。



教育支援機器等展示室 [iライブラリー]

iライブラリーは、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウェアの展示室です。

主に、学校で利用可能な市販品を障害種ごとにコーナを設け、説明パネル等を使ってわかりやすく紹介しています。



詳しくはこちら→

iライブラリー WEBサイト

<http://forum.nise.go.jp/ilibrary>



ICT活用実践演習室 [あしたの教室 (通称)]

あしたの教室 (通称) では、GIGAスクール構想による1人1台のタブレット型端末をはじめとするICT機器を活用した指導方法や、教室における合理的配慮の可能性を体験的に学ぶことができます。

この教室では、教員研修等で模擬授業等の演習 (遠隔による配信を含む。) を行うことが可能です。研究所がこれらの体験的な学びを通して得られる知見を整理して発信することや、特別支援教育に役立つ基礎的研究活動の研究設備としての機能を担っています。



// 図書室 //

NISEの図書室では、特別支援教育に関する図書資料を収集・整理・保存し、閲覧・貸出・文献複写等のサービスを行っています。

特別支援教育の専門書を中心とする図書約80,000冊、学術雑誌等の逐次刊行物約2,000種類のほか、全国の教育現場や関係機関が作成した研究成果・実践報告書など約20,000冊の資料を所蔵し、これらの蔵書目録をインターネットで公開しています。

NISEの図書室はどなたでもご利用いただけます。ご利用の際はWebサイトの専用フォームにて事前連絡をお願いします。貸出・文献複写については公共図書館や大学図書館を通じた郵送でのサービスとなりますので、最寄りの図書館にご相談ください。



特色ある所蔵資料

名称	内容
研修成果報告書	NISEが実施する特別支援教育専門研修の受講者が修了時に提出する研修レポートなど、NISE創設以来の研修成果報告書を製本し、所蔵しています。
特別支援教育関係機関刊行物	全国の教育現場や関係機関が作成した研究成果・実践報告書など、市販されない刊行物を体系的に収集し、所蔵しています。
辻村文庫	NISE初代所長である故・辻村泰男氏の旧蔵書のうち、ご遺族より寄贈していただいた特別支援教育関係資料約500冊を別置して所蔵しています。

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > 図書室の利用

<https://www.nise.go.jp/nc/library>



// 研究所公開 //

NISEにある情報普及のための施設を見学できます。

体験型の展示を通し研究成果等を紹介しています。

会場：国立特別支援教育総合研究所
(神奈川県横須賀市)



研究所公開の様子(令和4年11月撮影)

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > 研究所公開

https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release



インクルーシブ教育システム推進に向けた国際事業及び自治体・学校への支援

// 諸外国の最新動向の把握や海外の機関との研究交流 //

諸外国の最新動向に関する情報収集と発信

NISEでは、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、国別調査班を組織し、特任研究員の協力により諸外国の障害のある子供の教育に関する政策等の状況を収集しています。調査結果は、NISEのWebサイトや「特総研ジャーナル」等を通じて公表しています。

海外の研究機関等との交流

海外の研究機関等と交流協定を締結し、研究職員の派遣や海外からの研究者等の招聘等、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する情報交換や研究者間の交流を行っています。韓国国立特殊教育院と「日韓特別支援教育協議会」を日韓交互に開催したり、韓国国立特殊教育院主催の国際セミナーに研究職員を派遣したり、交流を深めています。

【研究交流協定締結機関】

韓国国立特殊教育院（平成7年11月締結、令和元年7月再締結）

ケルン大学人間科学部（平成10年11月締結）

フランス国立特別支援教育高等研究所（平成27年3月締結）



本研究所以で開催した日韓特別支援教育協議会（令和4年度）

研究職員の海外派遣や海外の研究者等の受入

国際会議への参加・発表やインクルーシブ教育システムに関する状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。



// 地域支援事業 //

NISEでは、地域におけるインクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、「地域支援事業」を実施しています。これは、各都道府県及び市区町村がインクルーシブ教育システムを構築していく上で直面する課題について、その解決を図るための事業であり、事業に参画した都道府県及び市区町村教育委員会とNISEが協働して推進するものです。推進に当たっては、第4期中期目標期間中に実施した「地域実践研究」の取組や成果も活用しています。

令和5年度は、全国11都府県の16県市区町が参画し、インクルーシブ教育システムの理解啓発の取組、地域の支援体制の構築、校内研修の推進など、各自治体の課題や目的に応じた事業に取り組んでいます。事業の成果は、各自治体において報告会の実施やリーフレットの作成等を通じて普及する他、参画した全自治体の取組をとりまとめた「地域支援事業報告書」をNISEのホームページに掲載するなどして普及する予定です。



地域支援事業推進プログラムの様子（令和4年8月に対面とオンライン併用で実施）



「令和4年度 地域支援事業報告書」

// 地域実践研究事業報告 //

第4期中期目標期間に、インクルーシブ教育システム構築に向けて地域や学校の直面する課題を研究テーマとして実施した地域実践研究事業の成果を「地域実践研究事業報告書」としてまとめ、ホームページから提供しています。また、各自治体の研究成果は、リーフレット等にまとめ、NISEのWebサイトで紹介しています。



// インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB) //

NISEでは、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を広く提供するために、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)」を、平成25年11月から運用しています。インクルDBは、子供の実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を掲載しています。

◆ インクルDBのコンテンツ

【「合理的配慮」実践事例データベース】

文部科学省の委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」及び「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」において取り組まれた実践事例について掲載しています。

実践事例データベースは、子供の在籍する学校や障害種別等で事例を検索できるようになっています。検索した事例をダウンロードすることで詳細な情報が得られます。

令和5年4月現在、590件の実践事例を掲載しています。

【インクルDBを活用した研修例】

インクルDBを活用した研修プログラム案や実際に行われた研修や授業等を紹介しています。

【交流及び共同学習実践事例集】

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての関連情報や事例を掲載しています。

【関連情報】

- ・ 法令・施策や関連用語の解説など
- ・ インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのQ&A
- ・ 研究報告や関連するWebサイトへのリンク
- ・ 学校における遠隔授業や動画配信等の情報



詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)

<http://inclusive.nise.go.jp/>



// インクルーシブ教育システム構築に関する相談支援 //

NISEでは、各都道府県等からのインクルーシブ教育システムの構築に関する相談に対して、研修会等への講師派遣や、地域実践研究の取組や成果の提供等を通じて支援を行っています。

関係機関等との連携・協力

// 全国教育委員会、学校、関係団体、大学との連携・協力 //

NISEでは、全国教育委員会、特別支援教育センター、園・学校等を研究協力機関として公募するとともに、テーマ別研究班において、関係機関と連携を図るなど、实际的・実践的な研究の円滑な推進に努めています。令和3年3月には、広島大学との包括連携協定を締結し、同年4月に西日本ブランチ広島オフィスを開設したり、同年10月に、神奈川県教育委員会と、令和4年7月に、横浜市教育委員会との連携・協力協定を締結したりと、各機関と連携して行う取組が、全国の学校や教育委員会の課題解決に貢献できるよう努めています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

さらに、全国の都道府県及び指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、研究協議会を年1回開催しています。



横浜市庁舎で行われた協定締結式

// 日本人学校等への支援 //

NISEでは、日本人学校等に対して、NISEの研究成果や動画コンテンツのリーフレットなど、特別支援教育に関連する情報を「特別支援教育サポート通信」や「特総研だより」などを通じて年15回程度、提供しています。また、日本人学校を通じて、教員や保護者からの相談に対応し、支援を行っています。

さらに、文部科学省と連携して日本人学校における特別支援教育の状況調査を実施し、在外教育施設に赴任する教員の研修会等において、情報提供を行っています。

// 筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力 //

筑波大学附属久里浜特別支援学校の前身である国立久里浜養護学校は、昭和48年9月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う实际的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置されました。その後、平成16年4月に、国立久里浜養護学校当時の実践を踏まえつつ、知的障害を伴う自閉症の子供たちに対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行い、併せてその障害を補うために必要な知識技能を授けるため、筑波大学附属久里浜養護学校として設置されました。その後、平成19年に筑波大学附属久里浜特別支援学校と改称しています。

NISEと筑波大学は、平成16年7月に教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。

筑波大学附属久里浜特別支援学校Webサイト

<https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学附属久里浜特別支援学校

講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧

「特別支援教育全般」一覧

令和5年6月1日現在

コース	コンテンツ名
インクルーシブ教育システム関連	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(1) 障害児教育の歴史
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(2) 特別支援教育の理念と基本的な考え方
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(3) 学習指導要領と教育課程
	特別支援教育におけるICFの活用
	特別支援教育における教材・教具の活用
	特別支援教育におけるICTの活用
	特別支援教育におけるカウンセリング技法
	インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習
	個別の教育支援計画と個別の指導計画① 学習指導要領上の位置付けと役割
	個別の教育支援計画と個別の指導計画② 作成と活用
	自立活動の指導－指導計画の作成－
	インクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能①－センター的機能の考え方と内容－
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能②－センター的機能が有効に発揮されるために－
	障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援
	合理的配慮と基礎的環境整備
	特別支援教育の視点を生かした学校経営
	障害のある児童生徒における学習評価
	通常の学級における個々の子供への指導や支援
	活用してみようインクルCOMPASS ～園・学校でのインクルーシブ教育システム構築の充実に向けて～
	活用してみようインクルDB ～子供一人一人に応じた合理的配慮を検討するために～
各学びの場における教育	多様な学びの場(1) 特別支援学校の教育
	多様な学びの場(2) 小学校・中学校等①
	多様な学びの場(2) 小学校・中学校等②
	「通級による指導」の成立とその意義
	通級による指導を担当する皆さんへ「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」の活用について
幼児期における特別支援教育	幼児期における特別支援教育の考え方
	幼児期の具体的な関わり方の実際
	幼児期の関係機関との連携
	幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり
	幼児期の個別の指導計画の作成と活用
高等学校段階における特別支援教育	高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
	高等学校における校内支援体制づくり(1)
	高等学校における校内支援体制づくり(2)
	高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導
	高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方
	高等学校段階(思春期)における障害のある生徒の心理と自己理解

「特別支援教育全般」一覧(つづき)

令和5年6月1日現在

コース	コンテンツ名
役割と連携	小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成
	特別支援教育コーディネーター役割と活動を中心にー
	教育と福祉・医療等との連携
発達、生理・病理	医学的理解ー行動上の問題・てんかんー
	小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童・生徒の理解
	発生期、胎生期及び周産期における障害
	中枢神経系における障害
各障害に関連する 諸検査	主な検査の種類と方法及び留意事項ー発達検査法と知能検査法ー
	検査の意義とアセスメントーアセスメントの目的と意義ー
	視覚検査法
	聴力検査

「障害種別の専門性」一覧

令和5年6月1日現在

コース	コンテンツ名
視覚障害	視覚障害の特性と教育課程
	視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
	視覚障害教育における情報機器等の活用
	視覚障害教育における自立活動
	視覚に障害のある子どもにおける触覚活用
	視覚障害教育における教科指導法ー国語の指導ー
	視覚障害児の認知と指導
	弱視学級における指導と学習支援
	弱視用視覚補助具概論ー弱視レンズの選定と指導ー
聴覚障害	きこえのしくみと検査・補聴機器
	聴覚障害児のコミュニケーション
	聴覚障害児への教育的支援
	聴覚障害教育概論
	聴覚障害乳幼児の療育と指導
	手話の活用
	聴覚機能の理解と指導
	特別支援学校(聴覚障害)における進路指導・職業教育ーキャリア教育の充実ー
	聴覚障害児の自己理解と教育
知的障害	知的障害の理解と教育的対応の基本
	知的障害教育における教育課程の編成①ー知的障害教育における教育課程の考え方ー
	知的障害教育における教育課程の編成②ー知的障害教育における各教科ー
	知的障害教育における教育課程の編成③ー知的障害教育における道徳科及び領域等ー
	知的障害教育の各教科における指導の工夫①ー指導計画の作成と内容の取扱いの要点 小学部ー
	知的障害教育の各教科における指導の工夫②ー指導計画の作成と内容の取扱いの要点 中学部ー

「障害種別の専門性」一覧(つづき)

令和5年6月1日現在

コース	コンテンツ名
知的障害	知的障害教育の各教科における指導の工夫③－指導計画の作成と内容の取扱いの要点 高等部－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫④－指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い－
	障害のある児童生徒のキャリア教育
	知的障害教育における自立活動の指導
	知的障害教育における主体的・対話的で深い学び
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導①－各教科等を合わせた指導の考え方－
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導②－日常生活の指導、遊びの指導－
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導③－生活単元学習、作業学習－
	知的障害教育の教育課程の歴史①－知的障害教育の学習指導要領制定までの歩み－
	知的障害教育の教育課程の歴史②－知的障害教育の学習指導要領の変遷－
肢体不自由	肢体不自由の定義と障害特性
	肢体不自由教育における教育課程
	肢体不自由教育の実践その1
	肢体不自由教育の実践その2
	肢体不自由教育における自立活動の指導
	肢体不自由のある子どもへのAAC
	肢体不自由教育におけるICFの活用
	肢体不自由教育の歴史
病弱・身体虚弱	小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する実態
	病弱・身体虚弱教育の特性と教育課程
	病弱・身体虚弱教育における指導の実践
	病弱・身体虚弱教育における情報機器活用の実践
	子どもの身体発育と運動発達
	病弱教育の歴史
言語障害	慢性疾患の理解
	言語障害の定義・特性・分類 言語障害教育の制度
	言語障害のある児童生徒の理解と指導－構音障害・吃音障害－
	言語障害のある児童生徒の理解と指導－言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害－
	構音障害の理解と指導
	吃音の理解と対応－自己肯定感への支援－
	口唇口蓋裂の医療
	言語障害教育の現状と課題－全国調査の結果から－
情緒障害	ことばの遅れをめぐって
	情緒障害教育概論
	情緒障害のある児童生徒の指導と対応
	関係性の障害とその対応
情緒障害	選択性かん黙などの心理的要因が関与する児童生徒の理解と指導

コース	コンテンツ名
発達障害	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 (1) 定義と判断
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 (2) 学校における気づきと実態把握
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 (3) 特性の理解
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 (4) 特性に応じた指導
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 (5) 個別の指導計画の作成と活用
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論 (6) 校内支援体制の構築
	自閉症教育概論
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導
	自閉症のある児童生徒の家族支援
	自閉症のある子どもの教育課程
	自閉症のある子どもの実態把握
	通常の学級における自閉症スペクトラム障害 (ASD) のある児童生徒の指導の対応
	自閉症のある子どものためのソーシャルスキル指導
	ADHDのある子どもの理解と対応
	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援 (前半)
	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援 (後半)
	幼児期の発達障害
	LDのある子どもの理解と対応
	アセスメントの目的と活用
	発達障害のある子どもの通常の学級における支援 -協同学習による一人一人のちがいを生かす支援-
	発達障害のある子どもの通級による指導
重複障害	重複障害の概念と教育課程
	訪問教育における指導
	重複障害のある子どもの実態把握と指導の基本的観点
	重複障害のある子どものコミュニケーション
	盲ろうの子どもたちの理解と指導
	重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり
	重複障害教育の現状と課題
	重度・重複障害者の卒後の支援 -地域における当事者中心の支援を目指して-
	盲ろうの子どもたちの指導の実際
	手厚い支援を必要としている子どもが主体となる教育計画と実践 -情報パッケージ「ばれっと」の提案-
	医療的ケアを必要とする子どもへの対応
	強度行動障害の理解

「通常の学級における学びの困難さに応じた指導」一覧

令和5年6月1日現在

コース	コンテンツ名
概論	学習指導要領にみる特別支援教育
	教育課程の連続性と個に応じた指導の充実
小学校段階	小学校国語
	小学校算数
	小学校社会
	小学校理科
	小学校生活科
	小学校音楽
	小学校図画工作
	小学校家庭
	小学校体育
	小学校外国語活動・外国語科
	小学校特別の教科道德
	小学校特別活動
	小学校総合的な学習の時間
中学校・高等学校段階	中高国語
	中高数学
	中社会、高地歴・公民
	中高理科
	中外国語、高外国語 英語
	中高保健体育
	中高音楽
	中高美術
	中技術・家庭、高家庭
	中高特別活動
	中高道德
	中高総合的な学習の時間
	高情報

「英語版」一覧

令和5年6月1日現在

コース	コンテンツ名
英語版コンテンツ	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築 (2015年版英訳)
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 (1) 障害児教育の歴史 (2015年版英訳)

最新のコンテンツ一覧はこちら→

NISE Webサイト > NISE学びラボ

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online



最新の研究成果物リスト(研究成果報告書以外)

(令和5年5月1日現在)

NISEの近年の研究成果を教育現場に還元するために、研究成果報告書以外の研究成果物をリストにして提供します。都道府県教育委員会や教育センター等の担当の方が、研修会や研究協議会を企画・実施する際に、NISEの研究成果物を活用していただけるように、NISEのホームページでも最新情報を提供しています。

1. 書籍

インクル関連	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める10の実践－「インクルCOMPASS」で強みや課題をみつけよう－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-574-5 令和3年3月
自閉症	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導－確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-575-2 令和3年3月
特別支援教育	特別支援教育の基礎・基本 2020 (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-548-6 令和2年6月
知的障害	「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考える－北欧の実践をふまえて－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-489-2 平成31年1月
教育課程	小学校・中学校 通常の学級の先生のための手引き書－通級による指導を通常の学級での指導に生かす－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-450-2 平成30年2月
知的障害	育成を目指す資質・能力を踏まえた教育課程編成－知的障害教育におけるアクティブ・ラーニングの活用－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-446-5 C3037 平成30年1月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築に向けた地域における体制づくりのグランドデザイン －文部科学省モデル事業等の実践を通じて－ (株) 東洋館出版社 ISBN978-4-491-03374-7 平成29年7月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築のための学校における体制づくりのガイドブック－全ての教員で取り組むために－ (株) 東洋館出版社 ISBN978-4-491-03373-0 平成29年7月
病弱	病気の子どもの教育支援ガイド (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-406-9 C3037 平成29年3月
重複障害	手厚い支援を必要としている子どものための情報パッケージ「ぱれっと (PALETTE)」 －子どもが主体となる教育計画と実践をめざして－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-372-7 C3037 平成28年9月
知的障害	「育成を目指す資質・能力」をはぐくむための知的障害教育における学習評価の実践ガイド－学習評価の9実践事例を踏まえて－ (株) ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-384-0 C3037 平成28年9月

2. リーフレット

教育課程	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/966b8f7b123a927260469aa53f5f7a5b?frame_id=1235
肢体不自由	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する状況 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/083cf4d3c453088ad68d595546982b3f?frame_id=1235
肢体不自由	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/5e05240dd26f61653fb0fa1795b385ce?frame_id=1235
発達障害	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ もしかして、それ…二次的な障害を生んでいるかも…？ 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/08f50f2da9864d68fd321cb3595a1aaa?frame_id=1235
インクル関連	「インクルCOMPASS」ガイド 令和3年2月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0268a82e3496739df67d904da372318f?frame_id=1235
言語障害	言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために 令和2年5月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/b63291da546834b573084bb47ce544dc?frame_id=1235
自閉症	自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう！ 令和2年5月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/a89cfe3fd46491ddf8b4e03e10562022?frame_id=1235
インクル関連	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究 令和2年2月 －インクルーシブ教育システムを推進するための地域や学校等の主体的な取組を支援します インクルCOMPASS－ https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/bfd14f4ac6c63022dcb6b929310c8761?frame_id=1235
病弱	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究－Co-MaMe(連続性のある多相的多階層支援)－ 令和2年1月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e8ec1140df63665bb0e2bceea764638a?frame_id=1235

視覚障害	「視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究」－特別支援学校（視覚障害）における指導を中心に－ 平成31年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/461abb9ee6ba1a2b30ec92c91cdd3f6b?frame_id=1235
インクル関連	「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」調査報告 平成30年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/93eacda6121c450a0b843bca451a099e?frame_id=1235
教育課程	通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当てて 平成30年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/46f18d946d010e055a0547df7abd493c?frame_id=1235
自閉症	特別支援学校（知的障害）での自閉症教育の取組状況と課題（速報） 平成29年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/91d5db7cd491b22652ba339d7034f5bc?frame_id=1235
重複障害	みなさまの身近に視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」のお子さんはいらっしゃいませんか？ 平成29年2月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/febac0c84a2ac15ebaa8e954f4363a47?frame_id=1235
ICT・AT	特別支援教育でICTを活用しよう 平成28年11月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/6a5f44789228efe8865a427ab8401797?frame_id=1235

3. ガイドブック・事例集

聴覚障害	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ 令和5年3月 https://www.nise.go.jp/nc/study/disability_list/hearing/package_r3
肢体不自由	肢体不自由特別支援学級の指導ガイドブック－日々の指導に生かす肢体不自由教育の基礎・基本－改訂版 令和4年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/c04b663058e4fa2c69a1af62a19a54d3?frame_id=1235
病弱	「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」事例整理集 令和3年7月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/12c8180d4c6f63b0855b364aacffcb3d?frame_id=1235
教材・教具 病弱	病気療養等により支援が必要な児童生徒のための遠隔教育Q&A 令和3年7月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0908359489de45c210cbbb953c62f86a?frame_id=1235
教育課程	インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック －知的障害および自閉症・情緒障害特別支援学級を中心に－ 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/b77fa4f447030a14189a71d3a483a96?frame_id=1235
重複障害	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子どもたちの育ちと学びのために－教職員、保護者、関係するみなさまへ－ 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/9353ab9431f5f2e41a616f6cd3dc3fc1?frame_id=1235
発達情緒	高等学校教員のための「通級による指導」ガイドブック おさえておきたいQ&A 令和2年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/d7f998d2d7022ddb169848956db11b2d?frame_id=1235
インクル関連	令和2年度地域実践研究事業報告書 地域におけるインクルーシブ教育システムの推進 令和3年5月 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/7042
聴覚障害	聴覚障害教育 指導実践事例集 平成30年3月 http://inclusive.nise.go.jp/?page_id=106

4. 調査報告書

重複障害	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0a3a3ace55c2950cfff05b6e4f44148?frame_id=1235
聴覚障害	聴覚障害教育における教科指導等の充実に資する教材活用に関する調査（平成29年度） 令和2年1月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e3703dd71fa32dcab9e60483188315b5?frame_id=1235
視覚障害	特別支援学校（視覚障害）における重複障害幼児児童生徒に関する実態調査 調査報告書 平成30年9月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/dd2de301a673b10df9a3156cf2bea2f4?frame_id=1235
生涯学習	障害者の生涯学習活動に関する実態調査 報告書 平成30年3月 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/1619
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査報告書 平成29年12月 http://www.nise.go.jp/cms/7,14210,32,142.html
聴覚障害	特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育実態調査 報告書 平成29年9月 http://www.nise.go.jp/cms/7,13965,32,142.html
言語障害	全国難聴・言語障害学級及び通級指導教室実態調査 報告書 平成29年9月 http://www.nise.go.jp/cms/7,13964,32,142.html

NISEの財務・施設

// 予算・決算 //

令和5年度 予算額

区 分	金額(千円)
運営費交付金	1,057,851
施設整備費補助金	78,064
自 己 収 入	5,020
合 計	1,140,935

令和3年度 決算額

区 分	金額(千円)
運営費事業	人 件 費 736,113
	物 件 費 262,125
施設整備費	34,000
寄 附 金	432
受託事業等(間接経費含む)	12,167
合 計	1,044,837

// 建物 //

①研究管理棟
②特別支援教育情報センター棟
③研修棟
④体育館
⑤食堂棟
⑥西研修員宿泊棟
⑦東研修員宿泊棟
⑧生活支援研究棟



// NISE (ナイセ) 基金のご支援・ご協力をお願い //

NISEの業務は、主として国からの運営費交付金等によって活動しておりますが、障害のある子供の教育のより一層の振興を図るため、広く皆様方からの寄附を受け入れています。

NISEの活動に御理解をいただき、皆様方からの御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも我が国の特別支援教育の振興・充実に努めてまいりますので、何とぞ御理解・御協力を重ねてお願いいたします。

詳しくはこちら→

<https://www.nise.go.jp/nc/fund>



// 体育施設のご利用案内 //

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。

<ご利用可能時間>

体育館：9時～19時 フットサルコート：9時～17時

土曜・日曜・祝祭日もご利用いただけます。



詳しくはこちら→

https://www.nise.go.jp/nc/physical_education



連絡先・交通案内

// 連絡先 //

◇ 国立特別支援教育総合研究所（総務部）

住所：〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
総務企画課	046(839)6803	046(839)6918	a-somu@nise.go.jp
財務課	046(839)6818	046(839)6916	
研修情報課	046(839)6889	046(839)6915	

◇ 西日本ランチ広島オフィス（広島大学東広島キャンパス構内）

// 交通案内 //

◇ 京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

久3 系統・久里浜医療センター行で約15分、国立特別支援教育総合研究所下車すぐ

久8 系統・野比海岸行で約20分、終点下車300m

又はタクシー約8分

YRP野比駅下車

徒歩20分、又はタクシー約5分

◇ JR横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

久8 系統・野比海岸行で約15分、終点下車300m

又はタクシー約10分



交通案内図



周辺図





NISEロゴマークデザイン

春になると力強く芽吹く若葉。そのイメージである瑞々しさ、若々しさ、力強さを、特別支援教育のイメージと重ね合わせました。ロゴマークの上に配した丸い形は「障害のある子どもたちや保護者」を、その下に配した左の若葉は「NISE」を、右の若葉は「特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教育機関や医療・福祉・労働等関係諸機関」を表しています。二つの若葉は、お互いに連携・協力しながら、障害のある子どもたちや保護者を支えています。



〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL 046-839-6803 FAX 046-839-6918

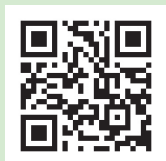
<https://www.nise.go.jp/nc/>



NISE「子どもとともに」モニュメント



友だち追加で
特総研の情報をLINEでお届け！
<https://page.line.me/126vsvuc>



NISEメールマガジン
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag



この要覧で紹介した研究成果報告書、インターネットによる講義配信「NISE学びラボ」、特総研ジャーナル、発達障害教育推進センター Webサイト、研究所公開、研究所セミナー、インクルDBなどの詳しい内容は [NISE](#) でまとめて検索できます！



再生紙を使用しています